

令和3年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エイチ・ビー・アクトシ(株)	代表者	原 広子	法人・事業所の特徴	緑や川に面した立地で、自然に囲まれた豊かな時間を過ごすことができる。住み慣れた大磯町で生活環境を大きく変えることなく、ご自分らしい生活を続けることができる。
事業所名	りんどうケアヴィレッジ	管理者	北村 里香		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1	0	3	0	0	1	0	3	0	8

項目	令和3年度の改善計画	令和3年度の改善計画に対する取り組み・結果	出席者の意見	令和4年度にむけた改善計画
A 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して事業所自己評価に取り組み、改善計画を実施していけるように意識付けをする。</li> <li>・新たに「私のアルバム」を活用して、利用者の支援に役立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でもあり、活動の自粛や制限をされることも多かったが、衛生管理に努めて感染症防止を図り、年間を通して事業を継続する事ができた。</li> <li>・職員間で情報共有やカンファレンスを行い、改善計画を意識した業務の見直しなどを行うことができた。</li> <li>・私のアルバムを完成させる事はできなかったが、本人の「～したい」の実現のための情報収集を意識した支援ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期支援として状況調査、本人や家族と情報を共有し、本人にとって必要な支援ができるように努力している。本人への声かけなどスタッフ皆で取り組んでいる。コロナ禍であってもサービスをストップさせることなく、感染対策をしながら続けることができて良かったと思う。</li> <li>・自己評価はどの項目もリアルに表現、点検されていることがわかりました。その評価を基として次の前進があると思います。</li> <li>・全てのテーマについて、コロナ禍によって改善計画と取り組みの間に相違があったと考えられます。少しずつコロナ禍や世の中の情勢に適した仕組み作りをして下さい。</li> <li>・今回は途中参加の為、改善計画の具体的進捗が見えたり、見えなかったりで、戸惑いがあり「わからない」と回答させて頂きました。但し、ご説明の中で「意欲的な面」は確認しております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の状況は定まらないが、感染症対策と自己評価の改善計画の取り組みが両立できるように、毎月の事業所内のミーティングで検討していく。</li> <li>・小規模多機能型居宅介護の機能を最大限活かせるように、事業所内での学びの機会を持ち、地域資源の活用と柔軟なサービス提供を目標とする。</li> </ul>

項目	令和3年度の改善計画	令和3年度の改善計画に対する取り組み・結果	出席者の意見	令和4年度にむけた改善計画
B 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植え込みの整備や催し物の開催、施設見学をしていただく機会を増やす等、家族や地域の方が事業所に入りやすいような工夫を続けていく。</li> <li>・ 引き続き、衛生管理や環境整備、感染症の予防と蔓延防止に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植え込みの手入れや、清掃で清潔感のある居心地の良い環境を作ることができた。</li> <li>・ 消毒や換気等で衛生管理を行いながら、地域の方や家族の相談や見学に対応した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍で地域の開かれた運営は難しいところもあるが、植え込みがきれいに整備されていて利用者が外で外気浴をしたり楽しそうな姿がみられた。</li> <li>・ コロナ禍の影響で思う様に計画を進められなかったと思う。今後、感染対策も考えながら、できる事を考えていく必要があると思う。</li> <li>・ 見る限り、適正な運営がされている。</li> <li>・ 清潔感を感じる。明るい雰囲気もある。</li> <li>・ 改善計画の一つの植え込み、催し物、見学等々は現状の社会環境の中で努力されていると感じました。二つ目の環境整備に関しては特に配慮されていると感じました。尚、鍵については施錠は無いと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植え込みの整備や居心地の良い環境整備の取り組みを続け、入口に看板を設置して催し物などの案内をし、家族や地域の方が入りやすい事業所をめざす。</li> <li>・ 消毒や手洗い、換気などの衛生管理の徹底を続け、感染症の予防とまん延防止を図る。</li> </ul>
C 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の方にどのような所かどんな事業所か知っていただく為に、イベントや来所していただける機会をできるだけ多く設ける。</li> <li>・ 同時に地域交流スペースの活用機会を増やし、「認知症カフェ」や「オープンガーデン」等、地域の資源となるような取り組みも行い、地域に開かれた運営を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 花見イベントを行い地域の方に参加して頂き、オープンガーデン等の地域行事に参加できた。また、散歩の途中でベンチで休憩して水分補給をして頂くことができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周りの方で多くの方が利用されていることが分かった。花見では近所の方々も参加されていた。コロナ禍でなければ多くの方を誘う事もできたかもしれません。</li> <li>・ 良い意味で地域の中に建物が溶け込んでいますが、その分事業所があるという視覚情報は少ないと思います。もう少し目立つ周知も場合によっては必要かと思えます。</li> <li>・ 中丸町内会として「ナカマールサロン」の存在を町内住民に知ってもらうよう努力します。また地域の伝統行事、祭事、お祭りや文化祭などの行事をお知らせしたいと思います。</li> <li>・ 地域の方への事業所の開放には現状のコロナ禍で対策がしっかりとされていると感じます。地域交流スペースについては「認知症カフェ」についての提案もあり、検討で進んでおります。</li> <li>・ まずは防災に関する小単位の勉強会や懇談会の会場として、使用させていただき、近隣の方に「りんどう」を知ってもらう事から始めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域交流スペースで「認知症カフェ」や小人数での家族会、介護の勉強会等の催しを行い、地域に認識される開かれた事業所をめざす。</li> <li>・ 「大磯オープンガーデン」に参加し、町内ガーデンの見学、地域の防災訓練に参加するなど、地域交流の機会を増やしていく。</li> </ul>

項目	令和3年度の改善計画	令和3年度の改善計画に対する取り組み・結果	出席者の意見	令和4年度にむけた改善計画
D 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族会等で利用者や家族から話を聞く機会を持ち、普段自宅での様子の他に、これまでどのように地域と関わってきたのかを知る。聞いたことから、これからの地域との関わり方を検討する。</li> <li>・地域資源の情報収集をして、地域行事に利用者者と参加する。</li> <li>・コロナ禍であるが、感染対策をしっかりと行った上で、積極的な活動をしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で地域行事への参加はできなかったが、本人の地域との関わりを聞き取るなど情報収集を心掛けた。</li> <li>・聞き取りから得られた情報から、地域の方と支援について話をする事ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご近所のひとり暮らしの方々などに、もう少し知っていただく努力を私自身ももう少し出来たらと思う。</li> <li>・家族会等の開催は困難だと思いますので、利用者ご本人との対話の中で確認されていると思います。地域資源については関係機関より情報収集をされていると感じました。</li> <li>・令和4年度はコロナ禍に適した関わり合いを必ずして下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者や家族から話を聞いて「私のアルバム」の作成を続け、地域との関わりに活用できるように取り組む。</li> <li>・利用者や家族が住み慣れた地域との関わりを継続できるように、コロナ禍に適した関わり、地域資源の活用を検討する。</li> </ul>
E 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営の報告以外にも、防災計画や地域の心配な方等の検討を行っていく。</li> <li>・情報交換の場としても継続と発展ができるよう模索していく。</li> <li>・限られた時間内であり、毎回話し合いのテーマを決める等して焦点を絞り、実りの多い会議になるように工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域方と防災の取り組みや感じている悩みなどを話し合い、情報交換の場として活用できた。</li> <li>・地域に開かれた事業所としての役割などを話し合い具体的な取り組みについて把握する事ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化に伴う問題を整理しながら、施設スタッフと近隣との協力で何が出来るかを話し合っていきたい(平時と災害時)</li> <li>・会議での情報交換はいつも感謝しています。話し合いのテーマは会議の中で次回テーマを決めて頂けると助かります。</li> <li>・防災計画は実施されていると報告がありました。情報交換の場は継続的にされていると感じました。実りの多い会議の工夫では努力されていると思います。</li> <li>・コロナ禍の中、1時間ほどの制約はありますがスタッフの報告は簡潔かつ明快で理解しやすいです。これからも地域との相互理解と情報交換を深めていきましょう。</li> <li>・報告時間を短縮し、話し合いのテーマを事前に決め、そのテーマについて話す時間を多くし、決定や実行できる事を増やしましょう。</li> <li>・推進会議に参加し、普段感じる悩みや疑問など気軽に相談することができ和えい難かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の高齢化に伴う情報交換の場として、事業所と地域が協働してできることを検討していく。</li> <li>・介護や地域の心配事など、会議での話し合いのテーマを決めて、検討事項や意見を活かせるよう取り組んでいく。</li> </ul>

項目	令和3年度の改善計画	令和3年度の改善計画に対する取り組み・結果	出席者の意見	令和4年度にむけた改善計画
F 事業所の 防災・ 災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策計画は、地震、津波、台風、洪水、火災等、具体的な項目毎に、よりわかりやすいものにしていく。訓練の実施に当たっては、地域の方の参加が得られるよう連携に努める。</li> <li>・地域で開催される防災訓練に参加し、地域での事業所の役割を検討していく。</li> <li>・地域と共同した防災対策の強化に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難確保計画を作成し、災害別の対応を検討し、定期的に訓練を行えた。</li> <li>・災害対策委員会を立ち上げ、災害別の訓練を利用者と一緒に行い、課題などを話し合う事ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の訓練には参加していないが、事業所の内部を見学させていただき状況を知ることができた。</li> <li>・計画も大事ですが、実際の訓練を増やして下さい。</li> <li>・地域との連携は報告の中で進められているように感じました。地域への防災訓練の参加等は難しい現状であるが地域との協働を進める事への準備等が出来つつあるように感じました。</li> <li>・令和4年度は地域防災組織との連携を具体的、親密かつ詳細に進めてまいりましょう。</li> <li>・防災計画の具体化の為、それぞれの災害をシュミレーションし、まず近隣住民と話し合える場を作りたい。災害後、行政による支援は期待できないので3日間は扶助で乗り越える力をつけたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年に策定した避難確保計画の適宜見直しを行い、スタッフへの周知と訓練を定期的に行う。</li> <li>・地域の方に防災訓練に参加していただけるよう連携に努め、災害時にどのように行動できるかを地域の方と話し合う機会を設ける。</li> <li>・地域の防災訓練に参加し、災害時に地域との連携が図れるように事業所の役割を検討する。</li> </ul>